

国民の皆さん・応援・宜しくお願いします。

Q太郎



春になると「花粉・黄砂・道路工事の粉塵・振動等」の生活環境が悪くなったと感じますがどうしてですか？

- ① 花粉や砂漠の砂は自然現象で難しいかな。
- ② 道路工事は改善の可能性に期待が出来ます。

「日本経済を支える」「みんなの社会資本」ですからね、また「財源は皆さんの血税」ですよ～。

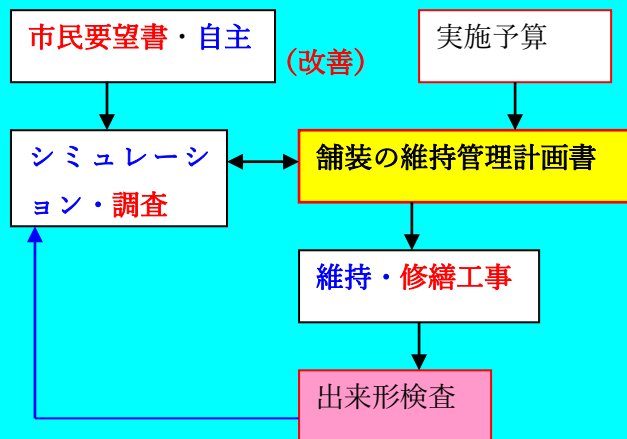
先進AI先生

確り見張り監視が必要です。また、要望書の提案等を行なうと効果があると思います。

道路工事の時期は役所の内情があると思われませんが、時期の平準化は舗装管理計画があれば可能です。

その為には「使える調査」が必要です。

「持続可能な指標」。 ループが廻り改善が進む



今までの、調査データは沢山あるが十分に活用されていない。(調査の為の調査活動)





先進国の道路維持管理はどのようなモノか教えてください

アメリカやヨーロッパ連合では、損傷に相応しい修繕が行える調査がされている。

因果関係のある目的形の調査方法で有意義なモノです。

日本は先進国の模倣ですが「独自に変更」し基準化し活用。

USA研究結果：↓利用者立場の指標⇒⇒↓管理者立場の指標

(AASHO) PSI(供用サービス指数) MCI(舗装維持管理指数)

ところが、近年・MCIは使わない事に改定されました。

調査項目は①滑らず・平らな路面性能とそれを支える②舗装の構造的健全度の「2点で十分」ですよ～



2大項目の調査で十分というのは本当ですか？

①利用者だから路面性能の滑らず・平らは解りますが。

②資産保全の健全度の根拠は理解が難しいです。

③進捗状況は如何ですか？

そうですね・少し詳しく書きます。

① 路面性能は：

ア：すべりは車の基本機能（走る・曲がる・止まる）を支える必須項目です。

イ：平らは、交通振動の発生源で振動規制法があります。

② 構造的健全度は：

舗装構造は多層弾性論を使い設計しています。路面に荷重を加えて、たわみ計測し力学的評価をしています。調査費用高・交通規制で実施が難しくなっています。政策になり各研究・開発機関が各種方法論を実施しています。

③ 進捗状況は：

ア：動的たわみ計測法（MWD）

イ：路面性状との相関から強度を予測する方法（縦断形状変化）の2つの方法が有力候補





もうすぐ工事の平準化と有用な調査が出来て利用者・  
管理者・沿道住民（納税者）が幸せになれますね  
**住民の血税を効率良い活用に期待**しています。  
有り難うございました。

舗装の構造的健全度について更に詳しく知りたい方は

[WWW.surftechno.jp](http://WWW.surftechno.jp)

のトピックス開示を参照下さい。

R3 / 02 **舗装の構造的健全度**は、★**縦断プロファイル**  
★から判る。 [「詳細」](#)

R3 / 03 **舗装の構造的健全度の評価手法の改革**は  
今でしょう。。 [「詳細」](#)

